

# 甲南Today

2010 MAY NO. 36

甲友のリレーションで、未来を紡ぐ

甲南Today No.36

2010年5月1日発行

【発行】

甲南学園広報部

〒658-8501

神戸市東灘区岡本8丁目9-1

TEL 078-431-4341 (代)

〈特集2〉 〈特集1〉

## 甲南大学の地域貢献 甲南大学のキャリア教育

〈特集3〉

## 甲南とスポーツ

世界最大のパレードに出場し、  
本場のエンターテインメントを体感。



「真の教育とは、人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の才能を引き出すことである」と提唱した、甲南学園創立者平生凱三郎。そんな平生の想いを込め、今、甲南学園で光り輝いている学生・生徒をご紹介します。

経営学部 3年次

### 志村 紗世子さん

経営学部では、ビジネスリーダー養成プログラムを受講中。インターンシップへ参加するために、学びにも全力で取り組む。

アメリカカリフォルニア州で毎年元日に開催されるローズパレードは120年の歴史を誇る世界最大のパレードとして有名で、その模様は全米に中継される。世界中から選ばれた20数団体のマーチングバンドが、このパレードに出場。志村紗世子さんは、アジア・オセアニアから唯一出場したバンドの学生代表を務めた。「私たちのバンドは、関西の大学生を中心とした選抜バンド。私はフラッグを持って踊るカラーガードを担当しました」

バンドのメンバーは約140名。これだけの人数が一度に集まるのは難しく、練習は苦勞した。「みんなが同じレベルでなくては、高いパフォーマンスはできません。私は練習の模様をビデオに撮って、参加できなかったメンバーに送るなど、できる限りのことをしました」。しかし結局、全員揃った練習が一度もできないままアメリカに出発。不安を抱えていた志村さんだったが、その不安はすぐ吹き飛んだ。「パレードまでの間、寝食をともにして練習することで、日本にいた時とは見違えるほど、みんなの息が揃いました」

パレード当日、何よりも驚いたのは、沿道を埋めつくす観衆の姿。9kmの道を行進する間、観衆が途切れることは一度もなかった。「はじめは緊張しましたが、アメリカ人は盛り上げ上手で(笑)。アクションのたびに、大きな歓声が上がります。歓声からパワーをもらい、最高のパフォーマンスができたと思います。国の違いや言葉の違いを超え、音楽でつながれることに感動しました。パレードのあとに待っていたのは、仲間たちとの別れ。2週間の滞在を通じて、メンバーの絆は強くなっていった。「この2週間をこれからの人生の糧にして、それぞれの道でがんばろうね」。志村さんは、最後のあいさつでそう伝えたといい。



「星条旗よ永遠なれ」「スリラー」など8曲を披露した。

ローズパレードに出場したことで、志村さんは音楽のすばらしさをあらためて実感。「将来はエンターテインメントの仕事に携わりたいですね。音楽やショーを通じて、一人でも多くの人を笑顔にできれば。それが私の今の夢です」



なるほど！甲南アカデミア

経済学部 藤本 建夫教授  
文学部 高石 恭子教授

IT'S KONAN STYLE

日本ベリンガーインゲルハイム株式会社  
オンコロジー部 統括部長

田頭 啓史氏



インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp>

携帯電話で甲南へ



Konan mobile

甲南学園  
創立90周年  
記念事業

## 平生鈞三郎日記 翻刻記念シリーズ

今回は、甲南学園元理事長、名誉理事である小川守正氏が語る、平生鈞三郎先生にまつわるエピソードをご紹介します。学生時代、平生先生に直接薫陶を受けられた小川氏の貴重な思い出の一部をご披露いただきます。



1912年の平生鈞三郎先生

その代償として夜学に行かせる常だったが平生家の書生さんは皆昼間の通常の学校の通い、家族の一人だった。その書生さんを平

平生さんのご自宅は、今の平生記念館の所であった。大きな2階建ての洋館だった。家が大きかったのは、常に5人以上の書生さんを置いていたからだと思ふ。当時は裕福な家は書生を置く習慣があり、その書生さんは昼間は家の雑用をし、

### お父さんの大事な学生さんたち

私は理事長のとき、日本私立大学連盟の会合で慶應と早稲田の理事長から「甲南では教員も学生も昔から平生先生と言わずに、平生さんと言っている。それが失礼ではないか」と言われたことがある。むこうでは福沢先生、大隈先生であり、福沢さん、大隈さんではなく先生なのだが、私たちにとっては、やはり平生先生ではなく平生さんである。平生さんとはそういう親しみと敬愛を受ける雰囲気醸す、大きな人間だったと思ふ。

### 甲南生は皆、平生さんと呼んでいた 今もそう呼んでいる

## 平生さんはそのとき —— 私たちが間近に見た平生校長 ——

生家では、お父さんの大事な学生さんと呼んでいたのを覚えている。その書生の方々には、一流会社の経営者や立派な学者や弁護士などとなり、社会に貢献されたと聞く。私が中学1年のとき、創立間もない甲南病院に入院したが、そこで献身的に働く、「元お父さんの大事な学生さん」だった医師の方々に助けられ、またこの話を聞いたのだった。

### 2・26事件と平生さん

昭和11年2月26日、陸軍の皇道派の青年将校が部下の兵1400名を率いて「昭和維新」をめざす武力クーデターを起こした。ひとりやふたりの暗殺者ではない。1,000人を超える武装兵士を動員しての暴動だ。彼らは岡田首相、鈴木貴太郎内大臣に重傷を負わせ、高橋蔵相・波辺陸軍教育總監、斎藤内大臣（元首相）を殺害、皇居を封鎖占領した。これに対し陸軍当局は周章狼狽、彼らの行動を天皇が認めたかのごとき声明を発し、クーデターの黒幕的存在だった眞崎陸軍大将が実権を握る形勢となった。

この状況に東京在住の実業家・政治家・評論家・言論人などは、次はわが身と大挙関西に逃げ込む騒ぎとなった。わが平生さんは、この報に接するや憤激抑え難く、眞崎大将と陸軍当局を糾弾すべく上京し、「閣下にして眞の日本軍人の気魄を有し、誠意あれば、連袂辞職の如き無知無力者の例に倣わず、単独に閣下に伏して自決してその罪を謝すべきであります…」との手紙を出している。

### 「平生鈞三郎日記」第一巻が完成いたしました

甲南学園創立90周年記念事業として準備を進めておりました。創立者「平生鈞三郎日記」の翻刻。このたび、第一巻が完成しました。A4判、500ページを超えるボリュームで、第一巻には、大正2(1913)年10月から大正4(1915)年12月末まで、平生が「自己以外の為に奮励する」時期の日記を収録しています。本巻は、甲南大学生協書籍部において販売(予定)するとともに、本学をはじめ関係教育機関の図書館などでもお読みいただけます。

お問い合わせ 学園史資料室 078-435-2629 (受付時間 平日10:00~16:00)



平生鈞三郎日記 第一巻  
甲南学園編  
定価20,000円(税抜)

### 第9代平成3年(10年)理事長・名誉理事 小川守正

1942年旧制甲南高等学校(理科)17回卒  
時は2・26事件の直後、東京は戒厳令下陸軍の支配下であり、実業界の重鎮というだけで、極めて危険な立場にある人の行動としては考えられないものであり、私たちは平生さんは殺されると思った。幸いなことに、昭和天皇が憤激し、決起部隊を反乱軍と決めつけ、自ら近衛師団を指揮し討伐の意思を表明したため、この昭和維新革命なる暴動は鎮定されたが、このときの昭和天皇と平生さんこそ昭和前天史におけるふたりの勇者と言えるでしょう。



裏表紙 ONLY ONE 個性を力へ VOI.7



【表紙の絵】西井 義晃 画  
「高等学校・中学校校舎をグラウンドから臨む」  
西井 義晃さん プロフィール 1961年甲南大学経済学部卒業 元自由美術会員  
右記のURLで作品集をご覧ください http://webgarou.net

甲南Today  
NO.36 2010 MAY

「岡本キャンパスの春—図書館前にて—」撮影・柚美  
http://www.yoshiyuzumi.com/

- 2 WHAT'S NEW KONAN  
平生さんはそのとき「第1回」  
—— 私たちが間近に見た平生校長 ——
- 3 (特集1) 甲南大学の地域貢献
- 5 (特集2) 甲南大学のキャリア教育
- 7 (特集3) 甲南とスポーツ  
プロバスケットボール選手 川辺泰三氏インタビュー他
- 9 新任教職員紹介／退任教職員紹介
- 11 なるほど！甲南アカデミア  
震災から15年。  
神戸経済を再生する方法を探る。  
経済学部 藤本 建夫教授
- 15 「ふれあい、甲南、お山歩eco」  
活動レポート  
子どもの成長をサポートすることで、  
自らも成長できる。  
GROWUP！児童福祉研究会
- 17 高・中TOPICS  
PART1  
甲南中学独自の教育  
「自学自修」をクローズアップ。
- 19 フランス甲南学園トウレーヌだより  
人間力と国際性を備えた人物を育成する  
——セネガル・クサナール市への支援活動——
- 20 オール甲南の集い2010のお知らせ
- 21 IT'S KONAN STYLE  
逆境のなかで、いかに力を発揮できるか。  
仕事も、剣道も、  
目標に向かう集中力が大切なのです。  
日本ペーパードライイングセルハイム株式会社 田頭 啓史氏  
オンコロジー部 統括部長
- 23 街を元気にする卒業生  
ナニワの街の風情を取り戻す。  
トリイホールオーナー 鳥居 学氏
- 24 こちら甲南特搜部  
大学生生活120%活用法!!
- 25 甲南フォーラム
- 20 PART2  
甲南高校ブラスアンサンブル部の魅力に迫る。

# 社会・地域に貢献したい

## “地域と甲南の架け橋” “コミュニティ・デザイン・センター”の取り組み。

大学とは、「教育研究活動を行い、社会に役立つ人材を育成し輩出する」という役割とともに、「社会（地域）貢献」という使命をも担った組織です。

甲南大学では、より積極的に社会貢献活動を展開していくため、2005年に「コミュニティ・デザイン・センター」(以下、CDC)を開設しました。

当コーナーでは、これまでのCDCの取り組みを「紹介するとともに、今後の可能性を探ります。」

### 社会及び地域貢献活動に取り組む 学生をサポート。

地域活動をより活発にしたい、あるいは町おこしや地域再生を願うコミュニティ(生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきを持つ共同体)は、多数存在します。しかし、これらのコミュニティのほとんどが、何をどう進めていけばいいかわからないまま悩んでいるのが現状です。

一方、甲南大学には、社会に役立つ有用な教育研究活動の成果として、地域貢献に取り組みたい志を持つ学生という財産が豊富に存在します。

CDCは、そのようなコミュニティと甲南とを結ぶ架け橋です。CDCによってうまくマッチングが成立したとき、コミュニティづくりに新たなストーリーが誕生します！

### 社会からも高く評価される CDCのプロジェクト。

現在、CDCでは、地域に住む外国人を対象として学生が講師を務める日本語教室や、東灘区におけるボランティア団体の調査・紹介など、さまざまな活動に取り組んでいます。CDCが進める複数のプロジェクト

は、マスメディアの注目も集めており、対象地域から感謝されるとともに、他の地域からも「甲南の学生に町づくりを手伝ってもらいたい」というご要望をいただいています。

### 地域貢献活動が大学にもたらす 大きなメリット。

CDCを通じた地域貢献は、大学にも大きなメリットをもたらします。学生は、プロジェクトに参加することで、たくさんの方々と出会い、交流し、ともに学び調べ、ときには教えることを経験して、人間的に大きく成長することが期待されます。それは、学生第一主義を掲げる本学にとって何よりも大きなメリットです。さらには、彼らの成長が地域貢献活動に反映されるという相乗効果も生まれることでしょ。こうした双方の関係関係を大切にしながら、本学では地域との連携を一層深めてまいりたいと考えています。

CDCは今年で設立5周年を迎えました。今後も地域との連携を深め、ともに地域を盛り上げていくプロジェクトに取り組んでまいります。

### 多数のメディアがCDCの活動を紹介



神戸新聞 (2008年5月26日)

朝日ファミリー (2007年4月13日)

## PROJECT REPORT

# 明日香村で農作物をつくろう! CDCの新プロジェクトを紹介。

2009年度より、CDCの新プロジェクトとして、「甲南大学と明日香村の農的地域連携」が本格始動。プロジェクトを指導する文学部の森田三郎教授と非常勤講師であり卒業生でもある高木昌要さんのお話を交え、昨年度の活動内容に迫ります。



### 単なる「村おこし」ではない。 学生が農業に挑戦することの 大きな意味。

「甲南大学と明日香村の農的地域連携」は、明日香村の耕作放棄地と民家を活用して、甲南の学生が農作物をつくるプロジェクトです。

プロジェクトの舞台となる奈良県明日香村は、高松塚壁画古墳などの文化遺産が有名な観光地。しかし、過疎化が進むなか耕作放棄地が増えており、歴史的景観が損なわれるという問題を抱えています。そこで、明日香村の農事組合法人「一穀あすか」と甲南大学が連携し、耕作放棄地に農園をつくるプロジェクトがスタートしたのです。「この取組は、もちろん、明日香村の村おこし」が主題ですが、実は、学生にとつて、もう一つの大切な意味を持つのです。今、日本の食物の自給自足率はとても低く、ほとんどを輸入に頼っています。自給自足を心がけることは、自分たちの口に入るものの安全性を考えること、日本という国の未来を考えることでもあるのです。そういった問題を考えるきっかけになってほしいですね。他にも、自然や地域の人々と触れ合うことなど学ぶことはたくさんあり、最高の教材だと考えています！

### 新鮮な感動が！ 農業に

昨年度の活動には、甲南大学が自由に使えるようにと明日香村からご提供いただいた民家をプロジェクトの拠点に、延べ50人の学生が参加。黒米や白米、キビやアワといった穀物から、ぶどうやブルーベリーといった果物まで、たくさん作物を栽培し



### 「阪神文化事典」づくり

それぞれが見つけた阪神間のあらゆる面白いものや出来事に焦点を当て、学生たちが自分の目や足を使って観察し、それを「阪神文化事典」の1項目として残していきます。学生が実際に現地へ赴き、インタビューや写真撮影を行い、検証に取り組めます。

### 「フィールド写真を撮る」

フィールド写真家の下で、兵庫の山や海、お祭りなどをカメラで撮影しながら、地域への理解を深めます。学生だけでなく、地域の方々、教職員、留学生、卒業生など多彩なメンバーが参加しています。撮影した写真は、学内外の展覧会で展示します。

### 甲南日本語教室「あおぞら」

神戸に居住する外国人の方に、甲南の学生が日本語を教え、交流するプロジェクト。外国人の方に日本のことばや文化を紹介するとともに、異文化に対する理解も深めます。参加した学生のなかには、日本語教員の資格を取得した学生も少なくありません。

### 深江文化村ネットワークに探る 地域再生の可能性

東灘区深江南町にかつて存在した一大文化空間、深江文化村を調査しています。昨年度は区役所や自治会と協力して聞き取り調査などを行ったほか、神楽町公園に深江文化村を紹介する案内板が設置され、それを記念した講演も実施しました。

### 阪神間における キャンパスことばの調査研究

甲南を中心に、阪神間の諸大学におけるキャンパスことば・若者ことばの収集と分析を行い、「キャンパスことば辞典」をつくっています。学生の日常生活をことばからとらえ、地域や大学とのつながりを解明し、コミュニティの再認識を促すことが大きな目的です。

### 「codeプロジェクト」

現在は、東灘区内のボランティア団体・グループを対象に、各団体の活動の聞き取り調査や地域への情報提供などを主たる活動にしています。調査結果は活動紹介ダイレクトリーとして、webサイトで公開しています。



鎌の握り方や稲をわらひもで縛る方法などを明日香村の農家の方から手取り足取り教えていただきました。

収穫した作物は、参加したみんなでおいしくいただきました。学生からも大好評!

体験者  
インタビュー



文学部社会学科2年次  
鼻野 香菜子さん

### とれたて野菜の おいしさに感動!

「食の安全」に興味があり、プロジェクトに参加しました。どんなことになりながら稲を刈ったり、コンバインを運転したことは貴重な体験でした。農作業の後には、収穫した作物を天ぷらにしてみました。素材本来の味がおいしさに感動! 素材本来の味がして、とても甘かったです。一方で、農業の難しさも実感できました。農業は天候に左右され、虫や鳥などの対策も必要なので、今後プロジェクトに参加して、果樹園で栽培した果物を使ったジャムづくりなど、自分ができることを考えていきたいです。

### 栽培した作物を 商品化する計画も。

今後の活動では、伝統的保存食の製造や、古農具を用いた農作業の映像記録を行うほか、果樹、イモ類、スイカなどを栽培し、より本格的な農園へと拡大していく計画です。「農園で栽培した作物を『甲南大学ブランド』の商品として販売していくことなども計画しています。このプロジェクトにはさまざまな可能性があり、これからもっと面白くなっていきますよ!」

### 参加者を随時募集中!

プロジェクトには、学生だけでなく、父母のみなさまや、卒業生の方の参加も大歓迎です。親子で参加している学生もいて、プロジェクトを通じて徐々に交流が広がっています。畑は駅のそば、近くにスーパー・銭湯もあります!

お問い合わせ先 文学部事務室  
TEL:078-435-2755 FAX:078-435-2302  
E-mail:k-cdc01@center.konan-u.ac.jp  
※平日10時~17時まで

# 就職「超」氷河期を 乗り越えるー!

甲南大学卒のキャリアコンサルタントと内定を獲得した学生の特別対談

文部科学省の公式データとして発表された大学就職内定率が80.0%をマークするなど、超氷河期と呼ばれるほど過酷だった2009年度の就職状況。この就職難を乗り越え、見事内定を獲得した2人の学生と、甲南大学でキャリア教育を担当するキャリアコンサルタントの本田勝裕氏を交え、就職活動への取り組み方を語っていただきました。

まず、企業を見ることが就職活動の第一歩。

本田勝裕氏(以下本田) 2人は超氷河期と呼ばれる就職状況のなか、見事内定を獲得しました。おそらく想像以上に辛い活動になったと思いますが、その就職活動について教えてくださいませんか？  
平岡直人さん(以下平岡) 僕は3年次の8月からスタートしました。プレエントリーは80社ほど、実際に面接を受けた企業は20社ほどです。

山本夕理香さん(以下山本) 私は航空関係という目標がはっきりしていたので、10社ほど面接を受けました。その分、スタートは3年次の4月と、まわりの友達に比べても早く動くことを心がけました。  
本田 2人ともちょっと少ないかも知れませんがね。この就職氷河期では、約80社以上の面接が必要だと言われています。  
平岡・山本 え、そんなに？  
本田 でも、それはどこでもいいから面接を受けると言っわけではないんです。  
山本 就職に対する視野を広げるといっていいのでしょうか？

を比較して考えるうちに、最後は金融業で働きたいという明確な目標が生まれました。  
山本 面接は、自分をアピールするだけでなく、企業を知るといいう意味もあるわけですね。  
本田 その通りです。最近では自分がやりたいことを仕事にするという学生が増え、目標を絞った就職活動が多いようですが、それは視野を狭めているだけ。自分からいんな企業を知るチャンスをつぶしているんです。  
平岡 そう考えると、もったいないですね。ひとつの業界でも多くの企業があるわけですし。僕の場合、面接を重ねることによって「この企業ならどう成長できるだろう?」という、企業を選ぶひとつの基準ができたように思います。



本田 そうです。数ある企業のなかで、自分にとってのベストを探るには比較が必要。そのためどんな企業や仕事があるかを分析することが就職活動には重要なことです。  
平岡 それはよく分かります。僕も最初は「人に信頼される仕事」という漠然とした目標でしたが、さまざまな企業の魅力

山本 そうか、場数を踏むことで、就職活動でも自分なりのビジョンが見えることがあるんですね。ところで私は、面接の中心が濃いと感じました。面接官と自分の距離が近いというか、人をじっくりと見て厳選しているというか...  
平岡 それは僕も感じました。採用枠が減って厳しい分、しっかりと見てくれていた気がします。  
本田 企業が学生をしっかりと見ていることは、学生の「質」を見極めようとしている

1985年甲南大学経営学部卒業。キャリアコンサルタントとして、企業、大学などで講演を行うほか、新聞、雑誌、webで執筆活動を行う。

3年次生対象科目  
フラクティカル・キャリアデザインを担当  
本田勝裕氏

学生は企業をもっと見ること。30社の面接ではまったく足りない。

ということなんです。それは、むしろ自分をアピールするための絶好のチャンスでもあるんです。

自分を知らなければ、自分をアピールできない。

ね。実はそれが正解。面接では事実を伝えることが重要なんです。先ほど話した企業分析が大切なように、企業も学生を分析しようとしているからです。  
平岡 そういえば企業の人事担当の方が、「この学生が企業でどんな働きを見せるか」をイメージして面接するとお話しされていたのを覚えています。  
本田 つまり「質」とは、学生が何に取り組みどんな人間に育ったかという、その人自身の能力の高さや人間性のことなんです。企業も人材選びに慎重になっている今、自らの「質」を高めることが就職活動を成功させるカギなんです。  
平岡 なるほど、目標を早くから持った方がいいのはそういう理由があるからなんですかね。今日の話は、僕たちが活動していた「OBF」の後輩だけでなく、甲南大学すべての後輩に聞いてほしいですね。かなり意識が変わるんじゃないかな？  
山本 私も模擬面接や業界研究に加え、自己分析も大事だよって伝えたいな。  
本田 そうですね、自己分析こそ自分を知る最初の一步。

これまでの努力をすべてアピール。長年の夢がやっと叶いました。

山本夕理香さん 文学部2010年3月卒業



全日本空輸株式会社に就職

小学校からの夢だった航空業界に就職。平岡さんと同じく、4年次次にOBFのメンバーとして後輩への支援活動を経験。

本田 「質」の話をする前に、2人は面接で自分をどのようにアピールしましたか？  
平岡 僕は自分がずっと信念を持ってやってきたことをぶつけましたね。高校時代に剣道部のキャプテンを務めた経験、大学で新しく剣道サークルを立ち上げたことを伝えたら、面接官の方がすごく僕に興味を持ってくださいました。最後には個人的にアドバイスがもらえるようになったのがうれしかったですね。山本さんは？  
山本 私は航空会社に入社するために努力したことをすべてアピール。海外留学やTOEICで語学力を高めたこと、フライトアテンダント講座を受講したこと、すべてを出し切ったという感じなんです。  
本田 2人も具体的なエピソードです

何に取り組みどんな人間に育ったかという、その人自身の能力の高さや人間性のことなんです。企業も人材選びに慎重になっている今、自らの「質」を高めることが就職活動を成功させるカギなんです。  
平岡 なるほど、目標を早くから持った方がいいのはそういう理由があるからなんですかね。今日の話は、僕たちが活動していた「OBF」の後輩だけでなく、甲南大学すべての後輩に聞いてほしいですね。かなり意識が変わるんじゃないかな？  
山本 私も模擬面接や業界研究に加え、自己分析も大事だよって伝えたいな。  
本田 そうですね、自己分析こそ自分を知る最初の一步。

そして、何をしたいのか、何をめざすのか、目標をしっかりと立てることをアドバイスしてあげてください。  
平岡 もうひとつ、面接は質問に答えるだけじゃなく、こちらから質問することも大切だと思います。本音でぶつかり合える関係じゃないと、企業の実態なんて見えてきませんよ。  
山本 私はキャリアセンターを利用することも教えたかったですね。キャリアセンター主催のフライトアテンダント講座を受講しましたが、甲南大学の先輩で現役客室乗務員の方が来てくださり、就職活動のことに真剣に相談のってくれたのを覚えています。  
本田 甲南大学はキャリア教育が根づいた大学。学生のみならず、この恵まれた環境を利用しない手はない。そして、多くの学生が、この就職難を乗り越え、成功することを期待しています。



三井住友銀行に就職

「人と人の信頼で成り立つ仕事」をテーマに、金融企業への内定を獲得。OBFの代表として、後輩への就職支援を行った。

面接とは意見のぶつけ合い。受け身の姿勢では企業の実態は見えない。

平岡直人さん 法学部2010年3月卒業

## 先輩が就職活動を支援する「OBF」

就職内定を決めた4年次生の有志が甲南大学キャリアセンターの支援を得て、後輩の就職支援を行う団体です。就職活動を行う3年次生を、実経験を生かした豊富なプログラムでバックアップしています。



Of the Students  
By the Students  
For the Students

### OBFの豊富なプログラム

**OBF合宿**  
一泊二日の合宿で、自己PRづくりや面接練習などを行うOBFの名物合宿。すぐに予約で埋まるほどの人気です。

### 業界研究講座

各業界への内定者が、自分の業界の就職状況を語る講座。就職サイトや説明会ではわからない情報も聞けます。

### 面接練習講座

本番に備え、面接の雰囲気を実験しておく講座です。面接に慣れるために、何度も受講する学生もたくさんいます。

### グループディスカッション／ワーク講座

面接試験でも多いグループディスカッションとグループワークの対策講座。相手の考えを理解したり意見を発信する力を磨きます。

### OBFゼミ

「口下手な向け」バリバリ働きたい人向けなど、毎回テーマを決めて行われるゼミナールスタイルの講座です。就職活動を終えた4年次生が、体験談や就職に対する持論を語ってくれます。

# スポーツは人間的成長の原動力。

甲南学園創立者平生三郎は、スポーツマンシップが人間性を育むとの考えのもと、体育や課外活動におけるスポーツを、健全な身体づくりの手段としてだけでなく、人格教育の一環としてとらえていました。その理念のもと、甲南学園でのスポーツ活動を通じて成長し、夢を叶えたいひとりのプロアスリートを紹介しします。さらに、2010年、甲南学園が取り組むスポーツへの新展開についてもお伝えします。

## 大学生活最後のゲームがプロへの第二步に。

私がプロをめざしたきっかけは、忘れてもない大学最後のインカレ大会。2回戦のときに対戦した、強豪、専修大学との試合です。試合終了まで残りわずか3分というところまで、甲南大学がリードしていたんです。でも、「このまま勝てるかも」と思ったとたん、スタミナが切れたのか、気持ちが悪くなるんだのか、一気に形勢が逆転。結局、ギリギリの点差で負けてしまいました……。ここで終わるのかと思うと本当に悔しくて、試合が終わってから「限界はまだまだこんなもんじゃない」という思いがくすぶっていました。

ドルと聞いていましたから。でも、もっとうれしかったのは、私がスカウトされた理由を知ったとき。実業団の方が、私が出場した試合のなかで、負けてしまったインカレの最後の試合が決め手になったと話してくれたんです。それを聞いたとき、自分の実力だけじゃなく、チームそのものが評価されたような気がしました。試合には負けたけど、バスケ部のことが誇らしく思えましたね。

## 支え合う環境だから生まれる、勝利へのサイクル。

実業団から1年ほど前に移籍し、現在は京都ハンナリーズのSG(シューティングガード)



# 「大切なことは、全部バスケットボールが教えてくれた。」

川辺 泰三氏

2005年甲南大学法学部卒業



ド)としてがんばっています。フィジカルの強さやテクニック的なことは、プロで身につけた部分も多いですが、スポーツへの姿勢や考え方は甲南時代に培った経験がベースになっています。

特に実感しているのは仲間を思うことの大切さ。バスケは5人しかコートに立てず、レギュラー争いが熾烈。そのため試合に出られないメンバーも多いんです。私は1年次からレギュラーでしたが、風当たりが強いところか、みんな自分のこと以上にレギュラーをサポートしてくれる。その姿勢に驚きました。甲南大学のバスケ部では、試合に出場しないメンバーは相手チームの戦術を研究したり、仲間たちのプレーを客観的な視点から分析して課題を発見するなど、それぞれがお互いを助け合っているんです。そこまで熱心に支えられるとレギュラーとしては勝たないわけにはいかない。仲間を思う気持ちがいプレーとなつて、勝利につながり、

甲南高校から甲南大学へ進学後、大学デビューと同時に新人王、得点王に輝く。さらに、チームを3年連続で全国大会へと導くなど、名実ともにエースとして大活躍。大学卒業と同時にプロとなり、現在所属する「京都ハンナリーズ」では、大学時代からのポジションSG(シューティングガード)を担当。持ち前のスピードと正確さを兼ね備えたプレイで、チームを支える中心的選手として期待されている。



TAIZO KAWABE



チームの信頼を生む。そんな勝利のサイクルが自然とできる環境だ。たよりに思います。バスケは団体競技ですから、個人の能力と同じぐらいチームを思う気持ちが勝つことにつながります。それはプロになっても同じこと。仲間を思い、チームのためにがんばることが、勝利への原動力になっています。

## スポーツを続けることで、真っ直ぐな人間に育つ。

あらためてふり返って見ると、小学生から社会人まで、本当にバスケ一筋の人生ですね。でも私は、バスケに生き方を教わってきたと胸を張って言えます。チームのため、人のためにがんばること。先輩を敬い、後輩の模範となること。自分を信じて進み続ければ道は開けること。また、プロになつてからでも、社会人として企業に貢献し、フア

ンの期待に応える責任を持つこと、本当に多くのことを学びました。そして、そのほとんどが、社会を生きるうえで必要なものばかりだと思っんです。そういう意味でもスポーツは、人の成長に大きく影響を与えるもの。僕自身の経験になりますが、スポーツをずっと続けている人は真っ直ぐな人が多いし、悪い人はいないと思っっています(笑)。大げさかも知れませんが、スポーツを続けているということは、人として信頼できるひとつの証になるのでは？

甲南大学は、人材も施設設備もスポーツに取り組むのに恵まれた環境が整っています。さらに、グラウンドの新設や体育会の意識を高める取り組みも行うと聞いて、スポーツを通じて活躍する人が生まれてくるのが楽しみでなりません。私も、甲南大学の卒業生として、甲南にかかわるすべての人に期待されるプレーヤーをめざしていきます。



copyright©KYOTO HANNARYZ

# HANNARYZ KYOTO

「bjリーグ」(日本プロバスケットボールチーム)に加盟し、京都を本拠地に活動するプロバスケットボールチーム。地域の活性化に貢献できる存在をめざし、バスケ教室なども開催し、地域交流に積極的に取り組んでいる。

“スポーツは人格教育の一環”  
甲南スポーツの新たな展開をご紹介します。

## 六甲アイランド体育施設がリニューアル!



甲南学園創立90周年記念事業募金にお寄せいただいたご芳志により、六甲アイランド体育施設が素晴らしい規模と装いで完成いたしました。「スポーツの持つ教育力を強化する」をコンセプトとし、南側グラウンドの陸上競技場の全天候型改修、北側グラウンド4面の人工芝化、夜間照明設備の増強が当整備事業の3つの柱となっております。学生たちは、新しく生まれ変わった当施設において、体育の授業・課外活動等を通じ、仲間と力を合わせながらそれぞれの限界に挑戦し、大きく成長してまいります。

## 体育会系の心をひとつにする、新ロゴマークが誕生!



この「TEAM KONAN」というロゴは、体育会本部主導のもと、体育会全体と甲南摂津会(体育会OB会の連合組織)が、体育会全体の連帯感、大学への帰属意識を一層高めることを目的として共同制作したものです。ミズノ株式会社社長である水野正人氏(サッカー部OB・摂津会会長)が、日本オリンピック委員会の副会長を務められていたおり、選手たちにオリンピックの日本代表としての自覚や連帯感を持たせるために「TEAM JAPAN」という言葉が使われていたことをヒントに誕生しました。今後、このロゴは体育会のさまざまな場面で登場してくることでしょう。読者のみなさんも、是非体育会各クラブの試合へ足を運んでみてください!!

〔平成22年度〕

# 新任教職員紹介

新しい知を育む14人の新任教員と  
学生生活をサポートする14人の職員が着任しました。



武井 寛 教授  
〔専門分野〕 労働法

法学部



古川 治 特任教授  
〔専門分野〕 教育学、教育方法学、教育経営学

教職教育センター



九野坂 仁 専任職員  
〔資格・特技〕 英検2級

人事部にて5月末まで研修中



菅 理華 嘱託職員  
〔資格・特技〕 英会話、ランニング

国際交流センター事務局



田中 誠人 准教授  
〔専門分野〕 民事手続法

法学部



長田 達也 教諭  
〔専門分野〕 数学科

高等学校・中学校



東郷 絵美 専任職員  
〔資格・特技〕 韓国語、書道

人事部にて5月末まで研修中



坂本 真須美 嘱託職員  
〔資格・特技〕 ピアノ

理工学部 知能情報学部事務局



伊藤 公一 准教授  
〔専門分野〕 監査論(会計学)

経営学部



MATTHEW SHAPIRO  
外国人英語担当コーディネーター  
〔専門分野〕 English Co-ordinator

高等学校・中学校



今野 智子 専任職員  
〔資格・特技〕 司書、博物館学委員

図書館



糸井 利依 嘱託職員  
〔資格・特技〕 英検2級、ボランティアコーディネーター、ソフトテニス

会計大学院事務局



高橋 正 教授  
〔専門分野〕 代数学、数学教育

知能情報学部



JESSICA DRAPER  
外国人英語担当契約教員  
〔専門分野〕 English

高等学校・中学校



大西 良平 専任職員  
〔資格・特技〕 バスコン、インターネット、フットサル、テニス

総務部事務システム課



瀬戸 麻由美 嘱託職員  
〔資格・特技〕 読書

カウンタリングセンター！  
人間科学研究所事務局



GREGORY ROUAULT 特定任期教員  
〔専門分野〕 Language Program Management, English for Specific Purposes

マネジメント創造学部



大河 亮 専任職員  
〔資格・特技〕 TOEIC (915点)

人事部にて5月末まで研修中



大長 敬幸 専任職員  
〔資格・特技〕 スポーツ全般

経営企画室



前川 貴子 嘱託職員  
〔資格・特技〕 演劇鑑賞

フロントテア研究推進機構事務局



小舟 賢 准教授  
〔専門分野〕 行政法

法科大学院



大村 卓也 専任職員  
〔資格・特技〕 サッカー

人事部にて5月末まで研修中



畔柳 康太 嘱託職員  
〔資格・特技〕 ウォーキング・ゴルフ

ネットワーキングキャンパス東京事務所



小巻 実朱 嘱託職員  
〔資格・特技〕 散歩

学生部(医務室)



大西 彩子 講師  
〔専門分野〕 臨床心理学

文学部



高橋 正 教授  
〔専門分野〕 代数学、数学教育

知能情報学部



JESSICA DRAPER  
外国人英語担当契約教員  
〔専門分野〕 English

高等学校・中学校



大西 良平 専任職員  
〔資格・特技〕 バスコン、インターネット、フットサル、テニス

総務部事務システム課



瀬戸 麻由美 嘱託職員  
〔資格・特技〕 読書

カウンタリングセンター！  
人間科学研究所事務局



GREGORY ROUAULT 特定任期教員  
〔専門分野〕 Language Program Management, English for Specific Purposes

マネジメント創造学部



大河 亮 専任職員  
〔資格・特技〕 TOEIC (915点)

人事部にて5月末まで研修中



大長 敬幸 専任職員  
〔資格・特技〕 スポーツ全般

経営企画室



前川 貴子 嘱託職員  
〔資格・特技〕 演劇鑑賞

フロントテア研究推進機構事務局



小舟 賢 准教授  
〔専門分野〕 行政法

法科大学院



大村 卓也 専任職員  
〔資格・特技〕 サッカー

人事部にて5月末まで研修中



畔柳 康太 嘱託職員  
〔資格・特技〕 ウォーキング・ゴルフ

ネットワーキングキャンパス東京事務所



小巻 実朱 嘱託職員  
〔資格・特技〕 散歩

学生部(医務室)

〔平成21年度〕

# 退任教職員紹介

長きにわたり、学生たちの知を育ててきた10人の専任教員と学生生活をサポートした4人の専任職員をご紹介します。

長い間ありがとうございました。



西條 隆雄 教授 文学部

16年間、文学部でお世話になりました。研究室は広く、書籍がうまく書架におさまりにいい環境下で教育研究に専念することができたのを喜んでいます。研究書は3冊出し、また、ディケンズ・フェロウシップ日本支部長(1999-2005)を務めて毎年のように欧米の有名なディケンズ学者をお呼びして講演会を開き、我が家にも泊まっていたので、研究会での交流と、友人としての付き合いを深めることができたのは有難いしあわせでした。



酒井 宏 教授 理工学部

私が本学に赴任したのは、あの阪神淡路大地震の備後が色濃く残る平成7年4月でした。壊滅的な打撃を受けた学園も、今では関西屈指の美しい、立派なキャンパスに見事に甦りました。関係各位のこれまでの御努力に、感謝とともに敬意を表します。本学で過ごしたこの15年間、大過なく過ごせましたのも、先輩や同僚および学園事務の皆様方のご厚情あってのことでした。退職に際し、これまでお世話になった皆様に深く感謝の意を表します。ありがとうございました。



岡村 治子 教授 知能情報学部

平成10年に理工学部応用数学科に赴任しました。その後、情報システム工学科、知能情報学部へ改組となり、12年間甲南大学でお世話になりました。私のゼミに在籍する学生は数学の学習を希望しており、数名の学生は、大学院での研究指導も、数学を教えることにやりがいを感じていました。お世話になった先生方、職員の皆様に感謝申し上げます。



望月 陽子 専任職員

皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

- ・ひろがる海と空 凜と咲く水仙 春のけいはいに 心安らぐ
- ・梅香る 習う筆置き 鯉跳ねる 友と語らう 心楽しや
- ・雛の日に 明かりを灯す 桃の花 春を待つ 心嬉しい



山口 直彦 特任教授 文学部

私が本学に赴任した時、すでに64歳でした。それまでは、精神科病院に勤務しておりました。私の師匠である中井久夫先生の後任でした。教師経験が私の講義やゼミに、学生諸君は戸惑ったことでしょうか。私にとっては、若い諸君との付き合いが若返り、一方的な利益を得ました。ありがとうございました。



長洲 満男 教授 法学部

今「人生とはつまるところ「わが一期一会」の積み重ねなのだ」との感慨にとり憑いています。学生時代の素晴らしい恩師と終生の友との出会いと交わり、文学部助手から中高教員時代での敬愛する同僚、親愛なる学生・生徒達との切磋琢磨、和気藟々の充実した愉快な日々。40余年間の甲南生活はなんとも恵まれたものでした。いい出会い、そして、いい別れこそ人生の醍醐味です。「一会なりこの人々とこの花と 商平」



山西 商平 教諭 高等学校・中学校

40年間、常に学生さんとご父母のみなさまの想いを大切にすることを心がけ、非常に充実した職員生活でした。たくさんの学生さんたちを送り出し、いよいよ自分が職員を卒業するときを迎えた今、胸がいっぱいです。甲南大学は私の心のふる里です。いつまでも大切にしたいと思います。ありがとうございました。みなさまのご厚情に心より感謝申し上げます。



西村 美保 専任職員

42年間の職員生活はあっという間でしたが、たくさんの学生さん、ご父母、教職員、関係企業の方々との出会いがあり、みなさんから素晴らしい思い出をいただきました。深く感謝申し上げます。今後は、それらの思い出を室に、第2の人生に踏み出していきたいと思います。またどこかで目にかかれましたら幸甚に存じます。まことにありがとうございました。



穂刈 千恵 准教授 文学部

甲南大学に着任してからの日々を振り返ると、7年間の出来事や経験のひとつひとつがとても大切なものと感じられます。大学関係者の皆さまに、この場をお借りして御礼申し上げます。私が所属した文学部人間科学科は、心理臨床・芸術・思想・環境という専門分野から構成されるユニークな学科で、その学際的の広がりや社会的実践とのつながりは今後ますます重要になると思われます。このような学科を全国に先駆けて立ち上げた甲南大学という「場」と、そこに集う「人々」の今後ますますの発展を心より願っています。



馬場 圭太 教授 法学部

甲南大学着任とともに神戸に移り住み、はや6年がたちました。美しい山と海を眺めながらの通勤は、東京の都心で生まれ育った私にとってとても新鮮でした。夏のキャンパスを歩いていると聞こえてくる、あのさわやかな葉擦れの音も強く印象に残っています。短い期間でしたが、先生方、職員の方々には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。在学生、卒業生の皆さん、ありがとうございました！



阿久澤 亮 専任職員

42年間の職員生活はあっという間でしたが、たくさんの学生さん、ご父母、教職員、関係企業の方々との出会いがあり、みなさんから素晴らしい思い出をいただきました。深く感謝申し上げます。今後は、それらの思い出を室に、第2の人生に踏み出していきたいと思います。またどこかで目にかかれましたら幸甚に存じます。まことにありがとうございました。

このほか、  
小林克彰講師  
(先端生命工学研究所)も  
退職いたしました。

# なるほど! 甲南 アカデミア

先生、  
知の最前線を  
教えてください

経済学の常識が通じない!?  
いまだに元気がない神戸経済。

阪神・淡路大震災から、今年で15年が経ちましたが、現在も神戸の経済は元気がありません。震災の被害はたしかに大きく、その経済的損失は約10兆円にも上ります。しかし一方で、神戸の復興には、その10兆円を遥かに上回る資金が投入されてきました。その額は、10年間で16・3兆円。経済学の常識から言うと、それだけの需要をつくり出せば、景気は良くなつて当然。なのに神戸にはこの常識が当てはまらない。一体、なぜでしょうか？

私の新著、「何が地方都市再生を阻むのか」は、阪神・淡路大震災前後の25年間を追いながら、神戸の経済状態が改善されない原因を追究したものです。これまでは、不況の原因を震災に求め、すべてが震災のせいであるかのような議論がなされてきました。私は、実は震災以前に、またそれ以後にも根本的な問題があったのではないかと考えているのです。

不況の原因は震災だけではない。  
神戸を再び活性化するために。

重工業・地場産業が停滞するなか、神戸の発展をリードしたのは「神戸市株式会社」。つまり、革新的自治体経営を誇った神戸市。神戸市は借金をして土地を開発。宅地や工業団地を造成し、土砂で海を埋め人工島を創り港を整備し、またトンネルや道路などの公共事業を行い、インフラ整備をしたのですが、それは同時に景気刺激策でもあったわけです。しかし、この神戸市の経営は地価が右肩上がりだった時代には成功したのですが、バブル崩壊によって地価は暴落。高い開発費の土地は売れず、巨額な財政赤字を抱え、現在も身動きが取れない状態です。

同じく、神戸の発展をリードしてきた神戸港も、競争力を失っています。神戸港が衰退した原因の一つは、1990年代後半に国の政策として輸入促進・内需拡大のため、日本各地に国際貿易港が整備されたことにあります。神戸は国際交易によって繁栄してきた都市であり、国際貿易港が全国に分散化することとは、ただでさえマイナス。そこに阪神・淡路大震災が起きたことで、神戸港は二重の打撃を受けたのです。さらに言えば、神戸の復興に投入された巨額資金の使い道にも問題があった。16・3兆円のうち、かなりの金額が公共事業に投入されましたが、それを含めて復興需要を担ったのは、約9割が兵庫県外の業者。利益のほとんどが県外に流れてしまい、神戸には経済効果が生まれなかったのです。

神戸経済が浮上できない理由は複雑です。地場産業が停滞するなかで震災が発生。ところが、お話ししたように、震災以前にも以後にも復興を妨げる原因が認められる。どうすれば、神戸経済を再活性化できるのか。これからの研究で探っていきたいですね。

自由主義者・平生鈞三郎を研究。  
平生日記の出版にも携わる。

私は今、甲南学園の創立者である平生鈞三郎の日記の出版にも携わっています。この日記が実に面白い。平生の目を通して、当時の日本の姿が生きて描かれており、時代状況が手に取るように分かります。実は



## 震災から15年。 神戸経済を 再生する 方法を探る。

壊滅的な打撃を受けた阪神・淡路大震災から15年。奇跡の復興を遂げた神戸ですが、しかし今もなお、神戸の経済は元気がありません。どうして、神戸の景気は15年経った今も良くならないのでしょうか？ 経済学部の藤本建夫教授が、原因の解明に迫ります。また、藤本教授が出版に携わっている平生日記の魅力と、ご病気の経験から感じた甲南への思いも語っていただきました。

経済学部  
藤本 建夫 教授

1969年 岡山大学法文学部経済学科卒業、  
1974年 京都大学大学院  
経済学研究科博士課程単位取得。博士(経済学)。



平生鈞三郎は、私の研究にもかかわらずあるのです。私の研究者としての原点は、ドイツの自由主義経済で、2008年に『ドイツ自由主義経済学の生誕』という本を書きました。この本は、第二次世界大戦と第二次世界大戦の間に活躍したドイツの自由主義経済学者が、当時の政治経済をどうとらえていたかを明らかにしたものです。その本を書いたこともあり、ドイツとの比較から、日本の自由主義者について研究したいと考えていました。平生鈞三郎は、日本における自由主義者の代表的な人物。平生日記に携わることは、研究者として非常にラッキーで、甲南との不思議な縁を感じています。

脳出血からわずか半年で復職。  
これからも、甲南一筋で。

10年前、私は52歳のときに大病を患いました。脳出血で倒れ、右半身が不随になってしまったのです。一時、復帰は絶望的かと思いましたが、リハビリで乗り越え、わずか半年で大学に復帰できました。早く甲南に戻りたい、学生に会いたいという強い思いがあったからでしょう。私の回復を待ち続けてくれた甲南には深く感謝しています。実は、私の病気は、ある程度まで回復するとそれ以上良くならないと言われていましたが、努力すれば絶対良くなる。食べ物に気をつけること。そして、私の場合、学生を前に、話をし、考え、ものを書くの三つが重要だったようです。私は、寝る前に布団の中で手と足を動かすようにしています。日々の変化はわずかですが、振り返ってみると、体が少しずつ変わってきていることに気づきます。ですから、同じ病気をされた方にはあきらめないでいただきたいという思いです。

私は、26歳のときに甲南大学にやってきて以来、甲南一筋ですから、甲南への思い入れは人一倍強いのです。これからも、健康に気をつけて、愛着を持って甲南一筋で研究を続けていきたいですね。

藤本教授の著書

ドイツ自由主義経済学の生誕  
ミネルファ書房 ¥8,000(税抜)

何が地方都市再生を阻むのか  
ポータルサイト「阪神・淡路大震災、経済復興政策」  
晃洋書房 ¥2,000(税抜)

脳卒中リハビリ奮戦記  
藤本建夫・藤本芳子著  
ミネルファ書房 ¥2,200(税抜)

なるほど!  
甲南  
アカデミア

先生、  
知の最前線を  
教えてください



コミュニケーション下手や甘えなど、  
今の人間関係の問題は  
幼少期からの親子関係が要因。

最近の学生相談室へ相談に来る学生には、以前とは違う特徴があります。受付の窓もノックしないし、気づくと、柱の陰に立っている。自分から用件を言い出せないですよ。こちらが「どうしたの?何か相談があるの?」と言うと「コクリと頷く。面接室に入ってから、なかなか自分からは話せない。こちらからいろいろと質問すると、ポツリポツリと答えたり、涙をこぼしたり、ときには黙って傷のついた手首を見せるという具合です。今の大学生は、自分がなぜ苦しいのか、生きづらいかを言葉で表現することが苦手なのです。心の病というよりは、青年期特有の悩みを抱えて相談に来る人が多いので、言葉にできれば葛藤したり解決法を探したりすることもできるのに、内面の気持ちを自分でつかみにくい。だから相談室には来るものの、黙ってうつむいている。日常生活のことなど少しづつ引き出しながら、「こんなことに悩んでいて、どうにかカウンセラーがいろいろと言葉を提示して、まずは苦しさの理由を本人に認識してもらうことから始まります。従来のカウンセリングは、カウンセラーが徹底して話を傾聴すれば、やがてクライエント自らが解決を見出していくというモデルがありました。が、今の大学生にはそれがなかなか通用しないのです。

です。わが子から離れることは、親御さんにとってもさびしいチャレンジだと思えますが、転んでも痛い目にあっても、「子どもも人生だから」と距離を置いて、見守っていかなければいけない。だから、子育ては、ほどほどに距離を保つ。そして、子どもに冒険させることを、できるだけ小さいうちからやっておくべきだと思いますね。

どんなに完璧をめざしても、  
「絶対」や「正解」はないのが、子育て。

私は、三年半ほど、インターネット上で子育て相談室のアドバイザーをしていたことがあるのですが、このたび、その経験を一冊の本にまとめました。今の子育て中のお母さんにも、大学生にも共通することは、情報が氾濫する時代を生き抜いて、そのなかで何を選択すべきかが見えなくて悩んでいることです。そんなとき、信頼できる先輩や友人などネットワークを持つ人は、その方々の意見を聞けばいいのですが、そういったネットワークがない人も現代には多いもの。「そういう人々に届けたい」という気持ちで本にしました。子育てに悩む一人ひとりのお母さん方と、今大切なことや役立つことを一緒に探せればと思っています。

子育てに「絶対」はないのです。「この子育て法が正しい」と世間やマスコミに言われると、その価値観に日本人は傾倒しがちなもの。ましてや今の大学生の親御さんは、完璧をめざす世代で、子育てに関しても、模範と示されたり正しいと思う方法を完璧に成し遂げようと努力します。しかし、人と同レベルの子育てはしなくていいし、周りの期待に応える必要もないんです。むしろ子育てには正しく合理的な判断などなく、すくなく非合理的なものなんだと、ちょっと距離感を持つ感覚も大切にしてほしいですね。

こうした今の大学生たちの背景にあるのが、日本の母と子の関係であり、日本人の子育てにあると、私は考えています。このことを説明するには、日本の戦後の子育てについてお話ししなければなりません。戦後日本は欧米式の子育てを取り入れ、独りで寝かせる、大人の決めた時間にミルクを与えるなど、早くから自立させる子育て法がスタンダードでした。しかし、もともと日本人の価値観に合わない欧米式の子育て法は、その反動もあって、1980年代半ばあたりから、逆に添い寝や母乳育児が推奨され、今度は逆に子どもと一緒にいる時間が長い子育てが規範となりました。日本人には「慈母」に対する幻想があり、お腹を痛めて生んだ子のためなら何でも与えるのが「いいお母さん」というイメージも強いですよ。そうやって、小さいときから何も言わなくても親が子どもの欲求をくみ取って、察してくれるのがあたりまえの育て方をされた今の大学生は、行き詰まったときにどうやってそれを自分の言葉で発信していいかが分からなくなってしまうという訳です。また、現代社会の人間関係の在り方は、この親と子の関係がベースになっているため、社会に出てしまえば自分のことを理解してくれてあたりまえという、いわば甘えの構造をつくるという問題もはらんでいるように思います。

子育ては、ほどほどに手を抜く、  
距離を保つ、  
そして、冒険させることが大切。

もうひとつ、現代の大学生の悩みの特徴を挙げるなら、社会に出ていくことに対して不安を感じているというところでしょう。いつまでも「与えられる立場」でいるのではなく、大学生活が終わるときは、次の世代に自分が「与える立場」にスイッチしなければいけない。それが社会の仕組みです。でも、そのステップになかなか踏み出せないのです。

これを解決するためには、本人だけでなく、どこかで親御さんにも意識を切り替えてもらう必要があると思つのです。わが子が大学生になっても、友人関係

# 大学生の心の声から、 現代の親子関係と 子育ての問題を考える。

高石恭子教授は、臨床心理士として、現役の母親として、  
本学学生のさまざまな悩みや相談をカウンセリングしています。

氾濫する情報に翻弄され、将来をめぐる不安も大きい  
若者たちにとって生きにくい現代だからこそ、  
年間相談件数は2,000件を超え、利用件数も年々増加しています。

今年で本学のカウンセラーとして22年目を迎える高石教授に、  
今の大学生の内面や悩み、そしてそこから垣間見える  
日本の親子関係や子育てについて語っていただきました。

文学部/学生相談室専任カウンセラー

## 高石 恭子 教授

1983年 京都大学卒業、1988年 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程満期退学。修士(教育学)。2003年より現職。専門は、臨床心理学。

### 高石教授の著書



や将来のことなど、親御さんが一緒に考えている家庭も多いと思いますが、これは子どもを自立からどんどん遠ざけています。あたりまえのことですが、いつまでもお父さん、お母さんが子どもさんの面倒を見ていくということはないですよ。本当に子どもものことが大切なら、お子さんの年齢にあった距離の置き方を実行し、自立させるべき時期も見極めていただきたい

高石教授が  
司会を務める  
シンポジウムを  
開催します

「父親の子育て・母親の子育て  
—親と子の健やかな距離を考える—(仮)」

日時 7月24日(土)13:00~17:30  
場所 甲南大学岡本キャンパス  
シンポジスト 大日向雅美(恵泉女学園大学)、新道賢一・濱田智崇・川口彰範・中里英樹(甲南大学)、根ヶ山光一(早稲田大学)  
指定討論 穂刈千恵(山王教育研究所)  
参加無料 ◎事前申込制(定員300名) 託児室あり(1名につき500円)

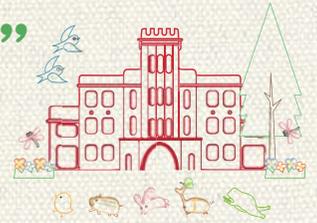
<お申込方法>  
5月10日(月)受付開始 メールにて下記メールアドレスにお申し込みください。件名を「公開シンポジウム参加申込」とし、①参加者氏名、②ご住所、③年齢、④職業、⑤託児希望の有無(人数)をご記入の上、お送りください。

kihs\_info@yahoo.co.jp  
※参加の可否は後日メールにてご連絡いたします。 ※上記は予定であり、変更となる可能性がございます。  
※携帯からお申し込みの場合は、上記アドレスの受信許可設定をお願いいたします。

お問い合わせ先 甲南大学人間科学研究所 TEL 078-435-2683(平日11時~17時)

未来へつながる自然環境の大切さを、甲南エリアから考える。

# ふれあい“甲南” お山歩eco



甲南大学の周辺、六甲山の南麓、甲南エリアは、身近な自然とふれあえる地域であり、「お散歩感覚」でその豊かさを再発見できるエリアです。甲南大学では、甲南エリアの自然を体験するプログラム「ふれあい、甲南」お山歩ecoを、2009年6月からスタートしました。この立地の良さを生かし、小学生の子どもさんたちを対象に、「野原や山、川で自由に遊ぶ」「本学の教員が行う」「ミニ授業」により、自然に関することを楽しく学ぶ「枝や木の葉、蔓などを使って工作をしたり、自然の風景をスケッチする」などのテーマをもとにした体験型のプログラムです。参加した子どもさんたちは、自然からさまざまなことを感じ取り、その大切さを考えました。また、参加者同士や甲南大学の学生・教職員などとのふれあいも経験して、少し成長した表情を見せてくれました。

フィールド・オブ・ゆう  
「知力・体力・時の運・それに表現・責任を!!」をテーマに学校でも塾でもない場所で、子どもたちに机の上だけでは得られない体験をしてもらうことを目的とする団体。  
<http://www.fyou.co.jp/index.html>

**GROW UP!**  
子どもの成長をサポートすることで、自らも成長できる。  
**児童福祉研究会**

お山歩ecoでは、創立約50年の伝統を誇る文化会児童福祉研究会のメンバーが大活躍！子どもとふれあいアクティブに活動しながら成長する彼らの姿をご紹介します！



子どもは自分を映す鏡。  
積極的に楽しむ気持ちが大切。

私たち児童福祉研究会は、大学周辺の小学校や児童館を訪れ、遊びや学童保育のお手伝いをするほか、発達障害のある児童の保護者の方々にサポートするサークル「ともえ会」の運営を行うなど、地域の子どもたち、そしてその親御さんたちと交流を深めています。入部するきっかけは、教員をめざして子どもへの理解を深める目的や友達に誘われたことが理由などさまざまですが、共通しているのはとにかく子どもが大好きということ。そして、クラブ活動を続けるうちに、子ども

とふれあう魅力にさらにはまっていくんです。子どもたちとは、主に体を動かす簡単なゲームと一緒に楽しめます。ゲームをするというところが意外と難しく、戸惑ってしまうメンバーも多いです。子どもは相手の気持ちを敏感に察知して、無意識に態度に表します。こちらが楽しんでいないと子どもたちも楽しんでくれないのです。だから、私たちは子どもは自分を映す鏡だと思っ

て、明るく元気な気持ちで接しています。こちらが積極的になればなる

ほど、元気なハートで応えてくれる。そんな子どもたちからは逆に教わるのがたくさんあります。何より、素直さや嘘のない笑顔と出会えることこそ、児童福祉研究会の一番の魅力ですね。

「お山歩eco」で手に入れた、次のステップへと進む大きなヒント。

文学部4年次  
**小林 知代さん** 成長したこと  
会計・書記  
本当の自分を出さないと、子どもも本当の自分を出してくれない。子どもとの交流から人との関わり方を教えられました。

理工学部4年次  
**森岡 将大さん** 成長したこと  
部長  
「見えない要求」に応えたい。相手を理解する思いやりが身につきました。子どもの相手をしていたら人前で話すことも平気になりました。

理工学部4年次  
**網本 由希子さん** 成長したこと  
副部長・渉外・マネージャー  
子どもだけでなく保護者の方とも接することで、コミュニケーション能力ができました。この力は絶対に社会で役立つはず。

昨年、私たちは「ふれあい、甲南」お山歩ecoのお手伝いをさせていただきました。子どもと一緒に山や森、川を歩き、生き物や草木の名前や特徴を教えたり、自分たちで考えた植物のおもしろいお話も披露。ちょっと難しい内容だったので聞いてくれるか不安でしたが、話し始めると目を輝かせ、興味津々で聞いてくれたのがすごくうれしかったですね。もうひとつの私たちの役目は、子どもが危険な場所へ行かないように見守ること。日常では体験することが少ない自然を楽しむ子どもたちは、元気がいい。好奇心旺盛で次から次へと興味の対象が変わり、走り回る子どもたちを見守るのは大変でした。

そんな私たちとは対照的だったのが、「フィールド・オブ・ゆう」の方々。子どもの自主性を大切に、私たちでは危ないと判断する場所にも冒険させていることにびっくり。また、工作でも、プロの方は作り方をそのまま教えず、いくつかヒントを出して工夫させるなど、子どもに考えさせるやり方を実践。子どもの自主性を育むことも必要だと児童福祉研究会が次のステップへと進む大きなヒントになりました。

このお山歩ecoでの体験や定期的な交流活動を通じて、新しい目標が見つかったり、今までなかった積極性が身についたり、メンバーがそれぞれ大きく成長しています。そんな自分たちの成長はもちろんですが、児童福祉研究会も活動の幅を広げ、甲南大学を代表するクラブの名に恥じないよう、そして、地域の方々から信頼されるよう成長していきたいですね。

レポートはこちら  
**ふれあい“甲南”  
お山歩eco**

シリーズ1  
**森で「あそぼう」**  
“甲南”ハイキング  
シリーズ第1回目は「保久良夢ひろば・保久良神社」へハイキング。のはずでしたが当日は雨天のため、大学内で落ち葉や小枝を使った工作を楽しみました。ミニ授業「植物は何を食べて生きているのか」を行った平田先生は子どもたちに大人気でした。



子どもたちの記念になればと、オリジナルのTシャツを児童福祉研究会が作成。甲南の「甲」(カブト)からデザインしたそうです。



シリーズ2  
**川と「はなそう」**  
水辺のふれあい夏のスケッチ  
「住吉川」の川辺で、水の中の生き物観察やスケッチ大会を開催。児童福祉研究会によるミニ授業「ちょっと分かるもともと楽しい植物と動物の関係」には、子どもだけでなく保護者の方も真剣に聴き入っていました。



シリーズ3  
**山を「まもろう」**  
秋さわやかな“甲南”散歩  
「保久良夢ひろば」で秋の自然を観察しました。素晴らしい秋空の下、澄んだ空気を味わいながらの散歩に、子どもも保護者の方もリフレッシュされたようです。イノシシの親子が散歩する姿に大きな歓声も上がりました!



シリーズ4  
**森から「つくろう」**  
クリスマスリースを手作り  
11/29 (日)



甲南大学オリジナルノートもプレゼント。お山歩ecoの思い出や勉強したことをたくさん書いてくれるといいですね。

PART 1

# 甲南中学独自の教育「自学自修」をクローズアップ。

学びごとの楽しさを通して、「生きる力」を育てる。

本誌の当コーナーで3回目の紹介となる、甲南学園の中高一貫教育。今回は、中学1年生・2年生の基礎期間における教育プログラム、「自学自修」で成長する生徒を、「紹介」します。

## 甲南の「自学自修」とは？

週5日制導入にあたり、土曜日のゆとりの時間を利用した自発的に行う学びです。生徒が興味のあることならどんなテーマでもOK。自由な発想で掘り下げていきます。自らの意思で学ぶことで、個性を伸ばしていくことが目的です。研究成果の発表会でプレゼンテーションを行うことで、考えや思いを人に伝える力も養います。生徒の授業やクラブ活動時間とは違った一面を引き出すことができ、またこれをきっかけに、家族全員が一緒に取り組み、体験する機会づくりにもつなげられます。中学生という多感な時期に、大変プラスになる学習であるといえます。

中学1年 武田君の発表の場合…

Theme 「明石城」



次々とわき出る明石城への疑問を、現地取材で解明。

地元にある明石城。いつ誰が造ったのか、どんな人が住んでいたのか？自分の中に次々とわき出る疑問を解明するため、明石城をテーマに研究しました。文献を調べ、さらに、実際に明石城のスタッフの方への取材にもチャレンジしました。インタビューは初体験でもとても緊張しましたが、5~6名の方に取材できたのがうれしかったです。この研究発表から、ひとつのテーマを深く調べる楽しさを学びました。そして同級生が明石城に興味を持ってくれたことがうれしく、今後は、明石城以外の城についても調べたいと思うようになりました。



甲南中学校1年 武田 茂久君

文献やテキストだけに頼らない、自分だけの学びを発表。



中学2年 木村君の発表の場合…

Theme 「THE UDON」

うどんの歯ごたえの秘密は粉の配合率にあった。

初めて香川県のうどんを食べたとき、今まで味わったことのない歯ごたえに感動！僕はどうしてもその秘密を知りたくて、うどんについて調べることにしました。まず、香川県にある「中野うどん学校」へ入学し、うどんの打ち方をマスター。うどんの秘密を探る実験では、実際に小麦粉の種類や配合率を変えるなど、さまざまな方法でうどんづくりに挑戦。家族全員で、おいしいものがどれかを食べ比べた結果、一番だったのは強力粉を多く配合したもの。これは麺のびず打ちにくいのですがその分歯ごたえが出ておいしかったです。



甲南中学校2年 木村 翔一朗君



プレゼンテーションを通じて、情報を発信・伝達する能力も養います。



PART 2

# 甲南高校 吹奏アンサンブル部の魅力に迫る。



2009年度は、ミシガン州立大学での音楽祭への参加を皮切りに、全国大会とも言えるJapan Students Jazz Festivalでの3連覇達成、そしてビッグバンドジャズの最高峰「カウント・ベイシー・オーケストラ」との共演など、めざましい活躍を見せる甲南高校吹奏アンサンブル部。その勢いの原動力とは何か？チームをリードする3名のメンバーに聞いてみました。



クラブのモットーは、「Be Happy Together!!」



甲南高等学校1年 鈴木 大元君 部長 / テナーサクソ

甲南高等学校1年 陸 悠君 コンサートマスター / テナーサクソ

甲南高等学校1年 寺岡 龍一君 マネージャー / アルトサクソ

が刺激し合える環境が部員の自覚を育て、クラブ全体のやる気を生んでいるのだと思います。クラブでは「Be Happy Together!!」をモットーとし、先輩後輩関係なく教え合ったり、仲間を思いやる人間になれるような環境づくりをめざしています。上下関係はあまり厳しくなく、笑いが絶えない明るい雰囲気なんです。だから、厳しい練習も苦ではありません。練習を重ねて上手に演奏できるとうれしいうれしいし、うれしいとまた練習したくなる。そんな好循環こそブラスアンサンブル部が大きく躍進できる秘訣なんだと思います。

「ブラスアンサンブル部は、総勢60名の部員を抱える大きなクラブです。毎日3時間の練習に加えて土日でもレッスンをしています。それでも個人練習やパート練習、合同練習など、時間がどれだけあっても足りないほどです。ハードな練習スケジュールですが、誰ひとり「しんどい」とは言いません。みんな音楽が好きで、ひとつの曲を全員で演奏する喜びや楽しさを知っているからだと思います。また、曲のなかにはひと通り演奏できるようなもの、3週間も練習する曲があります。そんな難しい曲でも毎日練習していくことで、少しずつ上達するのが楽器を演奏することの面白さ。難しい曲ほどみんなやる気が出ます。そんなモチベーションの高い仲間が多いのもクラブの魅力です。先輩も後輩も一人ひとりがうまくなるうとがなばり、お互い



ブラスアンサンブル部の生徒たちは、演奏技術の向上や音楽の魅力に触れながら、仲間と力を合わせてひとつの目標に向かう毎日の練習によって、人間的にも大きく成長しているようです。

## ブラスアンサンブル部の活動の足跡

### カウント・ベイシー・オーケストラと夢の共演

ビッグバンドジャズの最高峰であるカウント・ベイシー・オーケストラ。2010年2月、彼らの結成75周年を記念する来日ツアーで何と共演を果たしました。世界的アーティストを目の前に、緊張しながらも、楽しく演奏を披露できました。



### Japan Students Jazz Festivalで3連覇を達成



2009年8月、ブラスアンサンブルの全国大会とも言えるJapan Students Jazz Festivalで優勝に輝き、3連覇を達成しました。同時に「パークリー音楽大学賞」も受賞し、本年度も4連覇への期待がかかります。

2009年4月、ミシガン州立大学主催の音楽祭「ジャズ・スベクタキュラー」に参加。予選を勝ち抜いてきた、強豪17団体に負けない堂々たる演奏を披露。ジャズの本場アメリカでの演奏を体験して、大きな刺激になりました。



### ミシガン州立大学の音楽祭にゲスト出演

～甲南学園から感謝を込めて～

# オール甲南の集い 2010

どなたでもご参加いただけます！（卒業生・在学生・ご父母以外の方でも結構です）

## 甲南ファミリーのあなたとつくる、年に一度の大同窓会

卒業生、在校生、ご父母のみならず、またそのご家族まで、甲南ファミリーが集まり、仲間や先生との再会、現役各クラブのパフォーマンスなどを楽しむ毎年恒例の「オール甲南の集い」を5月23日（日）に開催します。幅広い年齢層の方楽しんでいただけるよう、たくさんプログラムを用意していますので、ご家族ご友人とお誘い合わせてご参加いただき、甲南の絆を深めてください。オリジナルエコバッグ（甲南大学×ユニテッドアローズ）などの賞品が当たるスタンプラリーなどもご準備しております！

※内容は若干変更する可能性があります。 ※学内は全面禁煙となっております。 ※駐車場はございません。電車・バスをご利用ください。

5/23日  
12:00～  
11:45頃よりプレオープニングとして  
各プログラムのご紹介をいたします  
in 甲南大学 岡本キャンパス



## フランス甲南学園トゥレーヌだより

### Actualités du Lycée-Collège KONAN de Touraine-France



## 人間力と国際性を備えた人物を育成する —セネガル・クサナール市への支援活動—



フランス甲南学園トゥレーヌは、2010年度より開校20年目に入りました。さまざまなものが激しく変化している現代社会。本校では、社会の変化に対応しつづける魅力ある学校となるために、「多様な文化を人類の豊かさとして積極的に受け入れる人物の育成」「国際的実践的なコミュニケーション能力に富んだ人物の育成」「自立性や社会性などの人間力を備えた人物の育成」をテーマとして幅広い分野においてさまざまな取り組みを行っています。今回は、その中から、アフリカのセネガル共和国にあるクサナール市に対する支援活動をご紹介します。

「なぜ、フランスにある学校がセネガルのクサナール市を支援するのか？」と疑問を持たれる方も多いと思います。実は、フランス甲南学園トゥレーヌのあるフランス・サンシール市は、クサナール市と姉妹都市で、医薬品の提供や医療体制の整備をはじめ、飲み水、電気、電話、教育、託児施設建設、眼鏡の普及支援など、数多くの支援活動を行っています。

本校においても、サンシール市の支援活動をサポートするべく、1998年度から生徒会が中心となってボランティア活動を開始したのです。最初は、不要となった文具や眼鏡等を集めてサンシール市に託すなどの小さなことから始めましたが、やがて、本校の生徒たちの活動の輪が大きく広がってまいりました。

### 日本での街頭募金活動

昨年の12月26日（土）・27日（日）、第7回セネガル訪問団の有志が、東京・新宿、渋谷の街頭で募金活動を行いました。メンバーは「セネガルの子どもたちのためにご協力をお願いします！」と声をそろえ、道行く人々に寄付を呼びかけました。2日間で予想を遙かに上回る106,436円を集めることができ、人の心の温かさとお金の大切さをひしひしと感じ、非常に得難い体験をすることができました。これらのお金は、託児所の施設改善や産婦人科の設備充実に活用されました。



なお、当募金活動の様子は、東京新聞や、雑誌「リベラルタイム」「ZAI TEN」などでも紹介されました。

### セネガル支援チャリティーコンサート

2004年には、本校和太鼓部員が自ら申し出て、同部のチャリティーコンサートを開始しました。この取り組みは大きな反響を呼び、2年間で約4,500ユーロ（60万円相当・当時）の寄付金が集まりました。当時、クサナール市では、洪水で小学校が倒壊するなどの大きな被害を受けていたことを踏まえ、サンシール市前助役の取り計らいにより、小学校再建費用の一部としてこの寄付金を活用することになりました。クサナール市では、この行為に対する感謝の意を込めて、校名を「エコール・コーナン・ド・トゥレーヌ」と命名、2007年1月、本校校長・教頭や在校生も出席するなか開校式が行われ、待ち望まれていた子どもたちへの教育が再開されました。



今年で6回目を迎えた当コンサートは、サンシール市でもすっかりおなじみとなり、毎年多くのお客さんがセネガルのためにチケットを購入し来場してくれます。2009年はトゥールで最も格式の高いVINCIホール（700人収容）がいっぱいになる盛況ぶり、入場料やご父母の方々からのご支援などを合わせ約5,000ユーロが集まりました。この寄付金は、現地で2つめとなる学校建設に利用される予定です。

### クサナール市での活動

本校生徒たちは、フランスから支援するだけでなく、自身の目で現状を見つめ、自らの活動の意義を知りたいと思うようになり、現地を訪れてのボランティア活動を開始しました。現在まで、7度にわたり80名以上の生徒がセネガルに赴きボランティア活動を展開しております。その中で最も重要で意義深い活動は、「一緒に遊ぶこと」です。一緒に踊ったり、走り回ったり、転げ回ったりするなかで、縄跳び、歌、日本語などを教えます。現地の子どもたちと一緒に遊んで遊ぶことで、生きた触れ合いの中から本校の生徒たちは、ボランティア活動の意義や必要性を実感し、先進国とは全く異なる世界を体験して様々な刺激と国際的視野の広がりを身につけていきます。

### トゥレーヌ児童基金

セネガルの支援活動の活発化を受け、総合学習の授業においてボランティアグループ「トゥレーヌ児童基金」が誕生し、世界的な視点でアフリカが抱える問題を考えようと、パリのユネスコ本部を訪問して勉強会を開催したり、文具購入のための街頭募金や全校生徒の意識を問うアンケートを実施するなど、地道な活動をコツコツ積み重ねてきました。

### 模擬店・物産展

●12:00～16:00

毎年ご好評いただいている模擬店。卒業生が経営する企業・商店などの物産や軽食、ビール、綿菓子、スナック類などをお得な価格でご提供!



### 柿木道子氏（甲南大学文学部1963年卒）講演会 「くいだおれ女将のしなやかなド根性」

●12:00～13:30

無 料

テレビ等で大活躍のくいだおれ女将柿木道子氏が甲南大学へ里帰り!ほかでは絶対に聞けない甲南の思い出などが満載!  
司会:大吉洋平(毎日放送アナウンサー・甲南大学卒業生)



### 記念写真撮影コーナー

●13:00～16:00 無 料

大学校舎をバックに、文化会写真部が記念写真をお撮りします。

### 工作教室

#### スワロフスキーアクセサリ教室 竹とんぼ・ベーゴマ工作教室

●13:00～16:00(入替制) 無 料



### お祭り広場

●12:00～16:00

無 料  
賞品もあります!

射的、バルーンアートなど、子どもさんが楽しめるゾーンです!

### 憩いの広場

●12:00～16:00

無 料

茶華道料理部道心会の学生によるお茶・お料理でくつろいでいただけます。



写真:瀬口侑希(新曲「愛の旅人」好評発売中)

### コンサート「オール甲南夢舞台」

●14:00～16:30 無 料

出演:瀬口侑希(演歌歌手/1998年甲南大学法学部卒業)、グリーンクラブ、ジャズ研究会、吹奏楽部、高中ブラスアンサンブル部

### ミニサッカー大会

●9:30～16:00 無 料

親子でフットサル!飛び入り参加も大歓迎です!!



### 甲南の歴史を振り返る写真展

●終日 無 料

## 甲南Today 読者限定の特典チケット

このチケットを甲南大学正門受付にてお渡しください。特典引替券と交換させていただきます。

第一線で活躍する卒業生に、  
ご自身の生き方について  
おうかがいするこのコーナー。  
今回は、製薬メーカーで  
新しい抗癌剤の  
プロジェクトに携わり、  
剣道界の最高段位八段も持つ  
田頭啓史さんにインタビューします。

### 36歳で営業職へ一転。 3年連続日本一を達成する。

田頭さんは、甲南大学卒業後、教師の道  
をめざした。第2次オイルショックの不況  
のおり2,600人の志望者のなか、わずか  
13人の合格者に見事選ばれ、8年間中学  
校の社会の教師として勤める。その後、全  
く異業種の製薬メーカーへと転職する、人  
生の一大決心をした。

教師生活は順風満帆、やりがいもありま  
した。しかし、かねてから企業の人材育成に  
関心があり、「これでいいのか？」と迷ってい  
たところもあったんです。ある日曜日、薬品  
メーカーの求人広告を見たことから、人生  
が大きく変わり始めました。2000人の募  
集にたった1人の採用でしたが、晴れて合  
格。通知が来たのは、間もなく新年度が始  
まるというときでした。

すぐに代わりの教員を探していただき、  
何とか薬品メーカーに入社。念願だった、新  
入社員やリーダー研修など社員教育を任  
され、仕事も軌道に乗っていました。ところ  
が、ふたたび大きな転機が訪れます。営業  
職研修の講師をしていたとき、受講してい  
た社員から「あなたの教えてくれる理論は  
素晴らしいと思うが、薬を売ったことがない  
あなたの話に共感できない」と言われたの  
です。その言葉から、現場に生きる知識が  
自分には足りないことに気づき、36歳にし  
てMRの道を志望することにしたのです。



た先生が多く、2年後には営業成績日本  
一になり、その後3年連続で一位を達成す  
ることができました。

### 今までにない営業法を導入、 新しい抗癌剤事業を成功させる。

田頭さんは、その実績を買われて静岡の  
営業所の所長へ。全国127営業所中、  
125番目の営業成績だったにもかかわらず、  
わずか2年で全国3位にたて直す。会  
社から慶應義塾大学のビジネススクール  
に派遣されてマネジメントに関し多岐に  
渡る知識を学んだ後、癌の分子標的薬の  
新たなビジネスモデルを築いて事業を成  
功へと導き、複数の製薬メーカーからヘッ  
ドハンティングを受けることになる。

私は、甲南大学で行動科学マネジメント  
という、組織の士気を高める経営論に興味  
を持ち、企業の人材育成にかかりたいと  
思っていました。

企業の経営で大切なものは、人々の能力を  
いかに高く発揮させることができるかに尽き  
ます。静岡の営業所を再生できたのも、やる  
気を失いかけた40代の社員たちを集めて毎  
月勉強会を開き、彼らのモチベーションと  
リーダーシップを高めたことが大きいです。

その後、体内の発癌遺伝子を狙い撃ち  
する画期的な新薬、癌の分子標的薬が登  
場。使い方ひとつで副作用も大きい新薬  
だったので、販売を始めた当初、患者さんの  
病状に依って一例一例徹底して医師と症  
例検討を行い適正使用を推進し、それまで  
業界であまり例のないコンサルタント営業  
をいち早く導入しました。そのために、知識  
としてはその疾患や薬剤に関して医師よ  
りも深い知識を一人ひとりのMRに伝授。  
とにかく売ればいい、という従来の営業方  
法を禁じたのです。他社も、この売り方に

追隨してきましたね。こうした実績から、  
「癌の治療薬を扱うオンコロジー部を任せ  
たい」と複数の企業から誘われ、現在は主  
に肺癌の治療薬を提供する、新事業のプロ  
ジェクトにかかわっています。

これまで仕事上でさまざまな新しいこと  
に取り組んできて、不利な条件のときもあ  
りますが、自分のどのスキルを使うか、自分  
に足りないものは何かをその都度考え自ら  
また成長していくのは非常に楽しいです  
ね。一方で人々の生命にかかわることがで  
きる社会的貢献度が高い、非常にやりがい  
を味わえる仕事です。

### 剣道は1対1の人間が戦うもの。 その瞬間の集中力が勝負。

田頭さんは小学校5年生から剣道を始  
め、甲南大学でも剣道部で青春を過ごす。  
剣道界の現在の最高段位であり、合格率  
わずか1%前後の八段にも合格するほど  
の腕前の持ち主だ。

甲南大学の剣道部の仲間たちは、私が八  
段に合格したときも盛大にお祝いしてく  
れました。私は、甲南学園歌の一節「世の常  
に媚ぶるなく」「わがみちをすすめとの遺訓  
（おしえ）あり」という歌詞が大好きなん  
です。人生では常識に縛られたり、敷かれた  
レールを歩かねばならないこともありますが、  
自分にとって魅力あるものに出会えたの  
なら、それを追求するべきだと思うんです。

また、私は、剣道部の顧問であった山本  
三郎先生のおっしゃっていた「文武不岐勉  
学にも運動にも持てる力を出し切る」の  
教えをモットーとしてきました。甲南大学  
で過ごしたことは、今の仕事にも剣道にも  
大きく影響していますね。

剣道からもたくさんこのことを学びまし  
た。そのひとつが、逆境のなかでいかに力を  
発揮するか。八段の試合相手は、警察官や  
体育の教員など、会社員の私と違って練習  
に十分な時間を取れる恵まれた環境の人  
ばかりです。しかし、剣道は1対1の人間が  
戦うもの。その瞬間という集中力を持つ  
て一撃できるかが、勝負なのです。そして、  
仕事も剣道も成長のプロセスは同じ。目標  
を明確にし、その目標に向かってどれだけ  
集中できるかが大切なんだと思います。

## 逆境のなかで、いかに力を発揮できるか。 仕事も、剣道も、 目標に向かう集中力が大切なのです。



日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社  
オンコロジー部 統括部長  
「1977年甲南大学経営学部卒業」

### 田頭 啓史氏

Hiroshi Tagashira

1977年甲南大学経営学部  
卒業後、中学校の社会科の  
教師として8年間勤める。  
1985年日本チバガイギー（現  
ノバルティスファーマ株式会  
社）に転職し、人事部、営業部  
を経て、数々の抗癌剤のプロ  
ジェクトに携わり、2009年より  
現職。剣道においては、2009  
年、最高段位八段に合格。

神奈川  
田頭

# 大学生生活120。活用法!!

みなさまから寄せられた疑問を徹底調査!  
こちら  
甲南特捜部

あなただけにこっそり教えます  
甲南大学お得情報

はじめに

わが甲南大学には学生をサポートしてくれるさまざまなサービスが充実していますが、意外によく知らないまま過ごしている人も多いはず。あつという間の大学生活をより楽しく、より有意義に満喫するための、とっておきのお得情報を集めてみました。

## 図書館

雨の日、授業の空き時間は、図書館に行って楽しみながら自分の引き出しを広げよう!!

### ● 空いた時間はDVD鑑賞!

広くてきれいな館内には本や雑誌、新聞だけでなく、DVDやビデオも充実!特に約800作品あるDVDは、昔からのロングセラー作品やアカデミー賞で話題になった名作をはじめ、アニメやドキュメンタリー、歴史ものなどの授業資料も揃っています。20席あるブースの事前予約はできませんが、受付の方に一声かけておくと、館内にいけば、空いたときに呼び出してもらえるそう。



### ● 地下でBSニュース!

図書館入口左手の赤い階段を降りると、視聴覚ホールがあります。ここでは平日9:00から15:00の間NHKのBSニュースが放送されており、一休みしながら最新情報もチェックできます。先日行われたパンクバーオリンピックも放送されていたんですよ。映画館のようなうす暗く静かな空間は、噂によると、休憩をしにくる学生もいるとか…?

## 学生部

学内で困ったこと、分からないことは  
とりあえずここに相談しよう!

### ● スポーツ用具の貸し出し

グローブ・ソフトボール・バドミントン・フリスビー・ソフトバレーボール・大縄跳びなどのスポーツ用具を無料で借りることができます。時間は、授業がある日は17:30まで、授業がない日は16:30まで。晴れた日の休み時間は、新設された芝生のグラウンドで気持ち良く遊んじゃおう。(芝生はヒール・スパイク等での立ち入りは禁止です。)



### ● 美術館、博物館の鑑賞券がもらえる

「甲南大学父母の会」からの援助により、学生が、無料で個展などを見ることができると嬉しいサービス! 人気の個展はすぐに売り切れてしまうそう。学生部の掲示板やホームページで鑑賞内容をチェックできます。ただし、これらの鑑賞券はすべて優待券などではなく、父母の会の支援で購入された物です。もらったからには責任を持って必ず鑑賞し、楽しんでください。

### ● 大学の備品を利用したいときは?

学生部に所定の「備品使用願」を提出すれば、プロジェクターやビデオカメラ、掃除用具などを借りることができます。どんどん利用しよう!

### ● 急な雨でも安心!

貸し傘のサービスがあり、誰でも利用することができます。借りた傘は一週間以内に返しましょう。

## 編集後記

新学期に入り、1カ月が経とうとしていますが、新しい生活には慣れましたか?大学という広い施設の中にはまだまだ知らないところや利用し切れていないところも多くあると思います。実際私も今回取材に行くまで知らなかったことばかりで、これから利用してみようかとワクワクしています。皆さんの今後のキャンパスライフに少しでも役立てていただければ、うれしい限りです。 文芸部 社会学科 メディア研究会 鼻野香菜子

### ● 中山文庫って何?

図書館と言っても大学の図書館なんて難しそうな専門書ばかり…。そんな風に思っていないですか?そんなことはありません。2階の奥には中山文庫コーナーというところがあり、旅行のガイドブックや話題の現代小説など、気軽に読みやすい物もたくさんありますよ。また、探している本がないときには、一人、月に2冊まで本をリクエストできるんです。勉強に、趣味に、どんな図書館を活用してください。

### ● リフレッシュコーナーで一休み

たくさんの方に気持ち良く利用していただくため、図書館内では飲食や大きな声での私語は厳禁です。でも一生懸命勉強したら疲れてしまいますよね。そんなときは、自動販売機も設置されている2階「リフレッシュコーナー」をぜひ利用してください。マナーを守ってたくさんの方が利用して下さるのをお待ちしております。



## サービスカウンター

(学生会館北館)

あなたの休暇や学外の時間も幅広くサービスしてくれます。

### ● 嬉しい割引がいっぱい!

- ・旅行:国内旅行なら一般の旅行会社の料金から3~5%の割引あり。
- ・運転免許:自動車学校の入学斡旋。
- ・交通機関:JR切符・バス券・飛行機チケット販売。
- ・鑑賞:映画館・美術館などの前売り券販売。
- ・写真:写真の現像、デジカメプリントも。サークルなどの思い出づくりに利用しよう。

### ● 安心・安全なアルバイト紹介

学生会館北館玄関の掲示板には学生向けのアルバイト情報を随時掲示しています。レギュラーのアルバイトのほか、短期のアルバイトもあり、情報は随時入れ替わるため、アルバイトを探している人は要チェック!



## 書籍部

(学生会館北館)

学生向けの文庫本や雑誌、資格試験・就職活動のための参考書がずらり。各学部の教授の方々が執筆された本も。私たちの知的生活を応援してくれること間違いなしです!

### ● あなたも「読書マラソン」に走りだそう!

「大学4年間で100冊の本を読む!」ことをめざして、マラソンのように読んだ本のレビューを書いていくという取り組みです。参加方法は簡単。大学生協SNSのコミュニティサイトに登録するだけ。そしてなんと、レビュー10個ごとに「甲南大学生協書籍部利用券500円分」がプレゼントされます。

### ● 文庫新書フェアを活用しよう!

この書籍部では3,150円以上10%off、3,150円未満でも5%off、そして雑誌は全品10%offという驚きの価格設定。また、年に2回ある「文庫新書フェア」では、1冊で10%off、2冊以上でなんと15%offにまでなるんです!フェア期間中にまとめて買っていく常連さんも多いとか。フェアは毎年6月と11月に約2週間ずつ行われますが、詳しい日には公開できません。興味のある人は、ぜひ、実際に足を運んでチェックしてみてください。



### ● 本の販売だけじゃない!

書籍の販売に限らず、英検やTOEICなどの語学検定申し込み、資格取得のための講座申し込みなども受け付けてもらえます。簡単に申し込めるだけでなく、割引を受けられるものもあるそう。これはここで申し込まなきゃ損!



街を元気にする  
卒業生

ナニワの街の  
風情を取り戻す。

「大阪のミナミ」でなく、「日本のミナミ」。上方文化が花開いた街、大阪・ミナミの道頓堀界隈。このあたりは、「道頓堀五座」と呼ばれた老舗劇場をはじめ、江戸時代は芝居小屋や寄席で賑わいました。でも今や残っているのはたまたひとつだけ。見る影もありません。「文化や芸能の灯を絶やさないように」という想いから、トリイホールを運営しています。そもそもきっかけは、この地に母が切り盛りしていた旅館を建て替えるとき。桂米朝師匠や今は亡き古今亭志ん朝師匠らに相談したら、「大阪の若手の芸人たちの発表場所がないから、つくってくれへんか」と言われたんです。簡単にホールはつくれたんですがね。そこが本当に大変でした(笑)。

# 足元のお金ばかり見るのではなく、100年先を見つめて大阪の街を変えたい。

トリイホール オーナー  
鳥居 学氏

1982年甲南大学法学部卒業

## PROFILE

平成3年、大阪市中央区千日前で祖父母の代から続く旅館を建て替え、トリイホールをオープン。近年は風情ある大阪の街づくりに奔走する。

若手芸人の発表の場としてはもちろん、今はこのホールにはもっと別の役割があると思っています。たとえば、上方落語は、今や正統な大阪弁が残る、数少ない芸能。その上方落語を残すことは、もはや失われつつある大阪弁を残すことでもあり、大阪の演芸文化を残すことでもあります。さらに言うと、日本の芸能の中心だった場所でも生れた上方文化を継承することは、日本の文化を存続させるという大きな役割があると思っています。だから、どんなに経営がピンチでも、神がかりのように誰かが助けにきてくれるんです(笑)。米朝一門の皆さんや笑福亭鶴瓶さん、数えればきりがありません。芸人さんが心意気で、よこんで協力してください。うちのホールはなくなってしまうんじゃない使命があるんですよ。この地は「大阪のミナミ」ではなく、「日本のミナミ」です。だからね。

## 「こだわりたいのは、温みある街」。

上方文化が発祥した風情ある大阪の街をなんとかしたいという想いもありますね。この界隈は、パチンコ店やカラオケ店、風俗店など、全国どこにでもある店ばかりで、街の個性や面白みが全くなくなってしまうんじゃないでしょうか。私が子ども頃は、映画館や劇場やお寺もあって、もっと活気があった。現在も、川があつて、エンターテインメント性もあるのに、その個性が生かされてないんです。でも、今お話しした問題は、この界隈に限ったことではありません。この街は、日本の街の縮図。世の中みんなが足元のお金ばかりを見ているから、今のようになつてしまった。「先義後利」という言葉もあるように、かつての大阪商人には、目先の利益だけにとらわれない経営哲学が

ありましたね。でも、今はそうではない。だから、私は、街づくりに、100年先を見るのが大切だと思っています。街は10年や20年では変わらないかもしれないけど、遠くを見据えてやっていく。それをやめないことが大切だと思います。夏には、長く途絶えていた、道頓堀川を巡航する船渡御のプロジェクションをお手伝いしています。さらに去年からは、50年ぶりに盆踊りも復活し、古きよき街の催しを盛り上げています。また数年前から、うちのホールで1月1日から寄席を歩いても、全然正月らしくないでしょう。まず、正月の音がない。だから、落語もやつて、街で太鼓や獅子舞もやる。私が羽織袴を着て、振る舞い酒やぜんざいも出します。かつては寺町だったんだから、せつかくミナミに来てもらった方々に、正月らしいにぎやかな風情に出会ってほしいんです。

大阪の都会のど真ん中にあるこの街は、無関心で生きることができない街じゃないですか。だからこそ、私がこだわりたいのが、人と人がつながる「温みある街づくり」。芸能も同じだと思っんです。街においては、人と人をつなぐ、接着剤のような役割をするものです。そして、街づくりに、若者たちにも参加してほしいです。余った力が街の活性化へと向かってくると、これから大阪の街はもっと面白くなると思っています。



落語、講談、浪曲、演劇などミナミの文化発信拠点

## 平成22年度入学宣誓式を 開催しました。

4月1日、入学宣誓式が執り行われ、学部生2308名、大学院(修士)94名、大学院博士7名、法科大学院36名、会計大学院34名が入学しました。新入生のみならず、ご入学まことにおめでとございます！

## 甲南大学公開講座の ご案内

### 老化を防ごう!!

「関節の痛みを克服して人生を楽しもう」「認知症にならないためには」「間違った運動は体の痛みを引き起こす」等  
 【日時】2010年6月5日(土)7月10日の毎土曜日(7月3日は除く)10時~11時30分  
 【場所】甲南大学岡本キャンパス511教室  
 【受講料】3,000円  
 【申込受付】2010年5月6日(木)~15日(土)  
 【お問い合わせ先】078-4352628(広報部)※平日9時~17時のみ

## グラウンドを 人工芝化いたしました!

岡本キャンパスのグラウンドを人工芝化いたしました。学生の要望に応え実現したもので、授業時間の合間、元気に友人たちと座って話したり遊んだりしながら憩う学生たちの姿は微笑ましく、甲南大学の新名所となりました。



## 父母の会のご支援により、 経営学部生が有名企業の 工場を見学しました!

このたび、経営学部生がライオン(株)、トヨタ自動車(株)、(株)ヤクルト本社の工場を訪問見学いたしました。このプログラムは、父母の会のご支援により実現したもので、経営の基礎となる製造の現場を直接見て、経営学部で何を学ぶべきかを改めて考える機会を提供する目的で企画されたものです。オートメーション化された工場の中で効率的に製造作業が進んでいく様子や、環境などにも配慮された工場を、学生たちは興味津々で見学していました。参加した学生にはレポートが課されており、その成果が期待されます。



オートアイランドキャンパス内に設置されている「DNAモデル」が「Largest model of DNA」(世界で最も大きなDNAモデル)としてギネスブックの認定を受けました。このDNAモデルは、実物の約10億倍にあたる全長22.54mの高さがあり、これまで最大だったUniversity of HuddersfieldのDNAモデル(21.5m)を1.04m上回ったことが認められて生きて生きることなどたくさんのごことを学び、演奏会開催前には、甲南大学キャンパス内に設置された「阪神・淡路大震災慰霊碑」に花束を捧げ、本番に臨みました。演奏会では、「宇宙戦艦ヤマト」や「ジブリメドレー」なども演奏され、聴く人を元気づける素晴らしいステージとなり、来場した180名の方々よりたくさん拍手を頂戴しました。なお、当演奏会の模様は、読売新聞及び神戸新聞でも紹介されました。

## オートアイランドキャンパスの 「DNAモデル」がギネスブックに 認定されました!!

甲南高等学校同窓会総会・甲南アコースティックコンサートの案内

「悲しみを越えて生きる力を!」  
 阪神・淡路大震災へのオマージュ  
 吹奏楽部が演奏会を開催

2009年12月23日14時から開催された文化会吹奏楽部の定期演奏会において、「おほなぬ〜1995.1.17阪神・淡路大震災へのオマージュ」が演奏されました。震災発生当時、メンバーたちは幼稚園児。練習を始めるにあたり、事前学習を一念に行いました。「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」に行き、当時の写真や映像、被災現場にあった物品などを見学。また、本学も37名もの在学生及び卒業生の方々が震災により亡くなることも、校舎の65%が損壊するなど大きなダメージを受けていることから、大学で働く職員に当時のことを聞く機会をもちました。そして彼らは、命の尊さ、今生きていて学んでいることへの感謝、悲しみを乗り越えて生きていくことなどたくさんのごことを学び、演奏会開催前には、甲南大学キャンパス内に設置された「阪神・淡路大震災慰霊碑」に花束を捧げ、本番に臨みました。演奏会では、「宇宙戦艦ヤマト」や「ジブリメドレー」なども演奏され、聴く人を元気づける素晴らしいステージとなり、来場した180名の方々よりたくさん拍手を頂戴しました。なお、当演奏会の模様は、読売新聞及び神戸新聞でも紹介されました。



## 甲南高等学校同窓会総会・ 甲南アコースティックコンサートの ご案内

【日時】2010年5月29日(土)16時開演  
 【場所】平生記念セミナーハウス  
 【会費】3,000円(大学生、院生は無料)  
 【内容】平成22年度総会(記念コンサート)高田フランクサンル部、芳博那氏、23回卒、是方貴孝氏、懇親会



## 2009年3月ご卒業生の同窓会 「新たな人脈をつくり、 甲南の輪を広げよう」

【日時】2010年6月6日(日)14時30分~受付、15時開演  
 【場所】平生記念セミナーハウス  
 【会費】1,000円  
 【内容】チ運動会(チーム対抗で賞品獲得をめざしましょう!)  
 詳細・お申込方法は、携帯で「アコースティック」を読み取ってサイトを覗いてください!  
 【お問い合わせ先】甲南大学生生活協同組合 理事会室 山本  
 TEL:0784511371

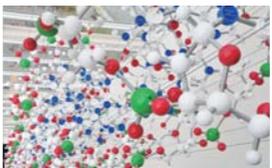


## 硬式野球部OBが 社会人野球監督に就任

座喜味大河さん(97年文学)が、体育

められたものです。こちらは建物外部からも見ることができですが、事前にご連絡いただければキャンパス内から見学いただくことも可能です。(オートアイランドキャンパス事務室/0783031457)

今後は、研究モデルとして取り扱うだけでなく、学生への教育、高等学校や中学校などの連携事業のなかでの活用や、本キャンパスが神戸市の医療産業都市構想の中心地であるオートアイランドに立地しているという地域特性を生かし、地域振興に寄与するような方策を考えてまいります。



## 現役甲南生が チーズケーキショップをオープン!

経済学部(EBA総合コース)4年生の山本理沙子さんが、4月18日(日)ケーキショップをオープンしました!

お店をオープンするきっかけは、アメリカ留学中の山本さんがニューヨークで食べたチーズケーキ!あまりのおいしさに感動し、お店に頼み込んでレシピを覚えてもらった山本さんは、帰国後、自分なりに改良を重ねるなかで、たくさんの人に自分のケーキを食べてもらいたいという思いを強くしたそうです。山本さんが作るケーキには、高タンパク・低カロリーのリコッタチーズをはじめ、卵も砂糖も身体に優しい安全なものが使用されるなど、味以外にもこだわりが見られます。「在学中に先輩や友達の努力や活躍を見て、私も自分の個性を生か

会硬式野球部出身者としては初の社会人野球監督(三菱自動車岡崎)に就任されました。ご活躍をお祈り申し上げます。

## RED GANGGOOチが 韓国代表チーム監督に 任命されました。

アメリカンフットボール部 RED GANGGOOチの福田龍秀氏が、韓国アメリカンフットボール協会から韓国代表チームの監督に任命されました。福田氏は筑波大学を卒業後、1988年から1995年までアメフトチーム、アサヒビールシルバスターのラインバッカーで活躍し、東京スーパーボウル(現在のジャパンXボウル)における3度の優勝に貢献しました。福田さんの契約期間は、2013年2月28日までとなっております。また、韓国代表チームスタッフには、第3回ワールドカップに引き続き、張田忠雄氏(1983年甲南大学法学部卒)も選ばれています。

## アンケートPRESENT 10名様

### 甲南大学オリジナル クリアファイル(3枚1セット)

甲南大学オリジナルクリアファイル3種類を1セットにして、10名様にプレゼントいたします。ご希望の方は、同封のアンケートハガキにてお申し込みください。

応募締切  
2010年5月31日(月)到着分まで



甲南大学ホームページでは、ここに掲載している情報以外にも、たくさんのニュースをご覧いただけます。<http://www.konan-u.ac.jp>

## 甲南大学の教員と卒業生が執筆した 新刊レビュー

「つづ」を遠ざける15の方法  
 P.H.P.研究所 著  
 ￥1,200(税抜)

花のふしぎ100  
 田中修 著  
 ￥1,000(税抜)

Community  
 コミュニティ科学 solution  
 宮元元文 著  
 ￥2,500(税抜)

質的調査の方法  
 宮元元文 著  
 ￥2,400(税抜)

社会ネットワークの  
 リサーチ・メソッド  
 星松園 著  
 ￥2,800(税抜)

軽井沢  
 入山道の名もなき  
 石仏(いしぶみ)たち  
 平賀三郎(本名:田上綱彦) 著  
 1961年経済学部卒  
 軽井沢コース舎 著  
 ￥1,000(税抜)

軽井沢  
 入山道の名もなき  
 石仏(いしぶみ)たち  
 平賀三郎(本名:田上綱彦) 著  
 1961年経済学部卒  
 軽井沢コース舎 著  
 ￥1,000(税抜)

中学生的の社会化とネットワーク  
 計量社会学からのアプローチ  
 工藤保則 著  
 1991年人文科学研究科上  
 ミネルヴァ書房 著  
 ￥5,000(税抜)

「つづ」を遠ざける15の方法  
 P.H.P.研究所 著  
 ￥1,200(税抜)

花のふしぎ100  
 田中修 著  
 ￥1,000(税抜)

Community  
 コミュニティ科学 solution  
 宮元元文 著  
 ￥2,500(税抜)

質的調査の方法  
 宮元元文 著  
 ￥2,400(税抜)

社会ネットワークの  
 リサーチ・メソッド  
 星松園 著  
 ￥2,800(税抜)

軽井沢  
 入山道の名もなき  
 石仏(いしぶみ)たち  
 平賀三郎(本名:田上綱彦) 著  
 1961年経済学部卒  
 軽井沢コース舎 著  
 ￥1,000(税抜)

## 次号は2010年9月発行予定 甲南Today NO.36

発行日/2010年5月1日  
 発行/甲南学園広報部  
 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1  
 TEL(078)431-4341(代)  
 印刷/大日本印刷株式会社